

ごうつ

# 市議会だより

もりわき ともこ  
題字：森脇 智子さん（高角小学校6年）



NPO法人ちいさどりのむ出発式（4月7日）

2012.5  
No.110

## 3月定例会市議会報告

議会の動き・予算審議	2～5
常任委員会審査	6・7
行政に問う（一般質問）	10～14

## 平成24年 3月(第1回)定例会日程

<p>12 15日 委員会(予算委員会)</p> <p>9日 委員会(建設厚生委員会)</p> <p>8日 委員会(総務文教委員会)</p> <p>7日 本会議(一般質問)</p> <p>6日 本会議(議案上程・提案説明・質疑・討論・採決) (一般質問)</p>	<p>3月1日 本会議(議案上程・提案説明・質疑・委員会付託) (議案上程・提案説明・質疑・討論・採決)</p> <p>3月1日 本会議(議案上程・提案説明・質疑・討論・採決) (一般質問)</p>
---	---

(委員長報告・質疑・討論・採決)

# 3月議会定例会

平成24年第1回議会定例会が、3月1日から3月19日までの19日間の日程で開かれ、平成24年度当初予算を初め、市長提出議案42件、議員提出議案1件が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

一般質問では10名の議員が市政全般にわたって、市長の考えをたどりました。



本会議場で意見書の朗読

### 【3月定例会】

- 市長提出議案  
同意議案(2件)
- 功労者の選定については次の方々に同意しました。
- 佐々木義明氏  
小川 和洋氏  
二本木俊二氏
- 公平委員会の選任については木村博紀氏を同意しました。
- 条例議案(15件)
- 江津市暴力団排除条例の制定についてなど。
- 一般議案(7件)
- 第5次江津市総合振興計画後期基本計画を定めることについてなど。
- 予算議案(18件)
- いずれも原案のとおり可決されました。
- 陳情審査結果
- 継続審査となっていた陳情5件についてはいずれも不採択となりました。

### 討論内容

議案第17号 第5次江津市総合振興計画後期基本計画を定めることについて

#### 反対意見

多田 平成28年の人口目標を2万7千人とするが、実現方法は企業誘致を示すのみで、うまくいかなかった従来の計画と大差ない。一方で、小学校統廃合では人口減を既定の事実としており、整合性を欠いている。住民へのボランティアの押し付けも、行政の責任を損なう。過疎化、少子化をはねのける計画となっていないため反対。

横田 後期計画では、現在人口の2千人増の2万7千人を見込んでいます。しかし、過去5年間の計画期間に2千人の減となっている。これは自然減によるもので、今後とも同様に減少すると考えられる。一方、少子化を見込んで教育施設の統廃合が進められている。目標と現実に乖離(かいり)があり反対。

#### 賛成意見

島田 今回提出された計画は、厳しい社会情勢の変化などを踏まえ、行政の経営資源の制約に取り組み、効率性、有効性の高い計画になっている。定住促進4大重点プロジェクトを掲げ、定住施策再構築に向けて積極的に取り組む計画となっております。

## 3 月補正予算決まる

<p>平成 23 年度 一般会計補正予算 (第 8 号)</p>	<p>3億310万4千円減 補正後予算総額 162億9,495万9千円 (参考) 昨年度同月予算総額 159億2,076万7千円</p>	<p>内容 各事業の実績及び決算見込みを算定したもの。 そのほか、国の 3 次補正に対応した緊急防災・減災事業として消防団員の安全装備品を整備する「消防施設整備事業」や災害備蓄、津波注意看板設置などの「災害対策費」また、「地域医療支援対策事業」について補正したもの。</p>
<p>特別会計補正予算 水道事業会計除く (8 会計)</p>	<p>4,860万9千円減 補正後予算総額 53億5,001万2千円 (参考) 昨年度同月予算総額 50億4,910万6千円</p>	<p>内容 決算見込みについて所要の補正をしたもの。</p>

## ～ 平成23年度 3 月補正の主要事業 ～

事業名	予算額	事業の概要
地域医療支援対策事業	3,917万 3千円	経営改善に向け再編計画に取り組む島根県済生会に対して財政支援を行うことにより、地域医療の充実を図るもの。今回、県再生基金事業採択により医師住宅整備事業補助を 1 億 2,425 万 5 千円減額するもの。
消防施設整備事業	475万7千円	消防団員の安全対策の強化を図るため、安全装備品を整備するもの。 トランシーバー 200 台・ヘッドライト型投光器 200 台・スタンド付投光器 10 台・発電機 2 台
災害対策費	3,330万円	災害発生時に迅速な避難や避難所運営等ができるよう施設整備を行うもの。 ・災害備蓄物品の整備、充実（毛布、非常食等） ・津波注意看板等の設置（海岸部及び避難所等） ・被災者支援システムの導入
学校校内LAN整備事業	2,993万 5千円	小中学校に教師用のパソコンを購入するもの。

整備予定のトランシーバー



問 学校校内 LAN 整備事業について、教師用パソコンを整備する経緯は。  
県内では本市だけが未整備で、今まで個人のパソコンを使用していた。セキュリティ上問題があることから整備を行う。

問 災害対策費のうち津波注意看板の設置内容は。  
標高 10 m 以下の海岸部を対象に、電柱 750 箇所のほか避難所等に設置予定。

審査内容



## 平成 24 年度当初予算決まる

## 一般会計

143億8,600万円  
 (参考) 昨年度当初予算額  
 152億1,700万円

## 特別会計

52億4,543万2千円  
 (参考) 昨年度当初予算額  
 53億7,803万7千円

## ～ 平成24年度当初予算の主要事業 ～

事業名	予算額	事業の概要
地域医療支援対策事業	4億3,393万 1千円	済生会総合病院等が行う医師看護師等確保及び離職防止対策としての各種事業に対し補助金を交付するもの。また、経営改善のため再編計画に取り組む島根県済生会に対し、財政支援を行う。
統合保育所整備事業	3,677万 9千円	施設の老朽化対策及び少子化に対応した効率的な運営を進めるために「川戸保育所」と「市山保育所」を統合し、新たに建設するもの。
企業立地推進事業	3,756万 6千円	産業の振興、雇用の場の確保のため、企業の設備投資に対して固定資産税相当額を補助したり、製造業が使用する専用回線の通信費補助をしたりするもの。
風の国施設維持管理事業	6,545万 8千円	森林総合公園「風の国」の運営管理及び薬草園などの施設管理費。
風の国出資金	1億円	財務体質を強化し、経営再建を進めるため新たな出資を行い、資本金を増資するもの。
都市公園整備事業	1億300万円	老朽化した市民球場のスコアボードを電光表示化の整備を行い、市民利用の利便性を高めると共に、新規大会誘致の推進を図る。
中心市街地整備事業	4億207万 7千円	公共複合施設を拠点施設として、公共複合施設、交流広場及び駐車場の整備並びに隣接した市道御幸通線及び水源地通線を拡幅整備し、駅前地区の活性化を図ることとしており、公共複合施設・交流広場・駐車場・道路の実設計画、建物移転補償調査及び用地買収・家屋移転補償を行うもの。また、江津駅前地区の再生に向け積極的に活動をしている団体に対して、補助金を交付し活動支援を行うもの。
教育コミュニティ創造ふるさと学習支援事業	1,000万円	未来の江津市を担う人材を育成するために、地域の産業理解、伝統文化・伝統活動の伝承など「ふるさと学習」や放課後・長期休暇等を活用した事業などを進める。



審査内容

問 統合保育所整備事業で、川戸・市山保育所を整備されるが、委託選定方法は。

いづれにしても入札を行うことになる。資格審査会においてどの業者を指定するのが最終的に決定することになるが、選定にあたっては、原則市内業者にしている。ただし、本市の基準の中で何社以上を示す規定があるため、業者数を何社にするのか、これを見直すことも今

後検討すべきと思う。できるだけ市内業者に入っていたきたい。

問 風の国施設維持管理事業の薬草園整備3200万円の内容は。

薬草園とエビネ公園を含めて整備する。薬草園の整備は5000㎡に土地・肥料を入れ、基盤整備を行ない、畑ができるようにする。エビネは森の館とテニスコートの間の道路沿いに植える予定。面積は約1000㎡になる。



統合保育所整備予定地



エビネ栽培予定地

問 市民球場のスコアボード設置の1億円投資の必要性は。

中央運動公園は、市民の総合的なスポーツレクリエーションの場として整備するもの。現行の補修では充当できない過疎債や交付金等有利な財源が活用できるため、市の実質負担はどちらもほぼ同程度になる。同じ金額を使つて対応するのなら、より良いものが整備できると考える。

問 駅前再開発を行い、移転されれば逆に活気がなくなるのでは。

現在、駅前地区の9割が空き家である。駅前の商店の経営者は、地域のまちづくり委員会や商工会議所と連携を図る委員会に参加しており、空き店舗活用などにより、活力を見出してもらい、本市としてはその意見を参考にし、活性化につなげる。

討論内容

議案第23号 平成24年度島根県江津市一般会計予算を定めることについて

反対討論

多田 済生会や風の国への支出について責任が明確でなく、福祉関連では保険給付費抑制のための目標が前年度より低くなっている。また、人口目標2万7千人を掲げる計画の初年度として、目指すべき人口増を明確に示していないため予算に反対。

賛成討論

森脇 同じ整備をする上でも市民にとって負担を少なくするよう、限られた財源の中、交付金や起債でも交付税措置される有利な財源を充当するなど配慮されている。済生会グループ、風の国に対しての支援事業は雇用確保、経営再建上必要だ

が、議会も責任を負う中でこれ以上市民の負担のないようしっかりと管理するよう意見を付し賛成。

議案第24号 平成24年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計予算を定めることについて

反対討論

多田 国保会計立て直しへの予防医療は、がん検診も特定健診も受診率が低い。保険加入者に負担を強いる前に、他の自治体の有効な取り組みを本市に取り入れることも必要。予防と医療給付費抑制の取り組みが不十分であるため反対。

賛成討論

山本 厳しい財政事情にあつても、担当課の取り組みの努力は認められるので賛成。

議案第28号 平成24年度島根県江津市公共下水道事業特別会計予算を定めることについて

反対討論

多田 公共下水道とし尿処理場の処理を共同で行う計画が含まれるが、議会へは全く説明がなく、審議は執行部の言い分のみをもちに行われ、行政をチエックする議会として、市民の声をもとに精査する時間もなかった。このようなやり方は議会軽視につながるため反対。

賛成討論

山根 共同汚泥処理施設基本設計業務において、2つの下水道処理場の汚泥処理施設と、20年以上経過した江津浄化センターを、共同汚泥処理施設として整備するなどして共同化(MICS事業)などを計画されるもので、今年度必要な業務であり賛成。



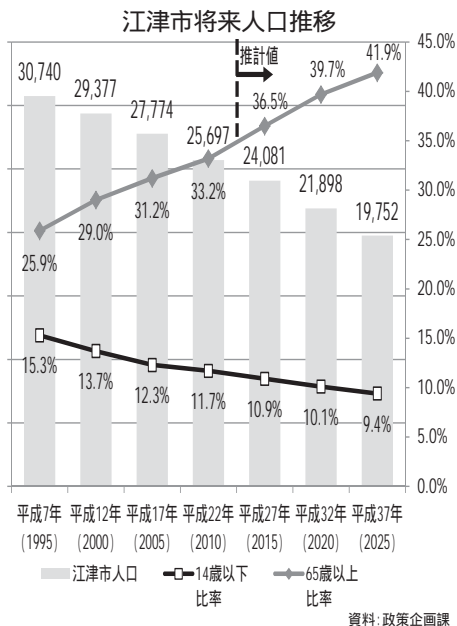
**総務文教委員会**

委員会に付託された議案 10 件について審査を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

江津市暴力団排除条例の制定について

「内容」

暴力団が市民の生活や経済活動に深く入り込み、暴力を背景とした様々な資金調達活動を行い、市民や事業者に多大な脅威を与えて



いる情勢を踏まえ、市民・事業者・行政が一体となって、市民生活や社会経済活動の場から暴力団を排除し、安全で平穏な市民生活の確保及び健全な社会経済活動の発展を目的として、条例制定を行うもの。

【委員質問】

問 県の条例は既にあり、近隣も設定する動きもあるが、この制定にあたって警察等と協議については、

素案を作り警察署とも協議をし、了解を符し今回提案をしている。

第5次江津市総合振興計画後期基本計画を定めることについて

「内容」

第5次江津市総合振興計画前期基本計画は、平成23年度をもって計画期間が終了したことから、基本構想の実現のため、各施策ごとの現状と課題、取り組み方針を明らかにし、実施計画に定める個別事業の方向性を明確にし、平成24年度から28年度までの5年間の期間とする後期基本計画を定めるもの。

【委員質問】

問 前期と後期で大きく変わった点は、総合的な支援の窓口設置を記載した。エネルギーの導入・活用

のところでは、平成21年度に策定をしたバイオマスタウン構想に基づくバイオマスタウン

活用、あるいは再生可能なエネルギーについて太陽光発電の普及促進を掲げた。いわゆる電力の地産地消の仕組みを盛り込んだ。それと子育てサポートの充実、子育てサポートの環境整備、青少年健全育成の推進を盛り込んだ。

問 教育委員会として、公民館活動はコミニティと連携する方針なのか回答を。

公民館については、教育委員会の方で今後のあり方について、昨年度から協議をしており、現在取りまとめつつある。公民館という施設は地域にとつての拠点施設であることに間違いはない。

公民館施設が地域でい

るんな活動に使われると理解をしている。教育委員会として地域活動を推進して行く上で、枠をはめるつもりはない。地域がそれぞれに活発に活動されて親交を図られる使われ方について教育委員会も支援をしていくスタンスである。

問 幼保一元化の問題は子育て支援課、教育委員会とも絡みはあるが、主体はどちらなのか。方針は。

どこの課というのはなく、協議をしながら進めていく。計画

上はこの項目は子育て支援課、この項目は教育委員会という表現の仕方は考えていない。

江津市防災行政用無線戸別受信機分担金徴収条例の一部を改正する条例制定について

「内容」

防災行政用無線戸別受信機により一層の普及を図るため、分担金の一部を助成する期間を3年間延長するもの。

江津市スポーツ推進審議会条例の制定について

「内容」

スポーツ振興法が全面改正され、新たにスポーツ基本法が公布されたことに伴い、全部改正するもの。



春の軟式野球大会



## 建設厚生委員会

委員会に付託された議案11件について審査を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

江津工業団地企業立地促進条例の一部を改正する条例制定について

「内容」

江津工業団地企業立地促進条例の一部を改正する条例制定については、環境保全補助金を廃止し、原水を活用し排水基準を達成しようとする企業に対して

原水の使用料を補助する原水使用料補助金を新設するもの。

【委員質問】

問 工場からの排水について及び制度の今後については。

環境省の示す環境基準は厳しくなってきたので、内容は、公営住宅法の改正により、入居者資格のうち「同居親族要件」の規定が廃止されたことに伴う「江津市営住宅管理条例の一部改正」、土地改良法の改正により、引用している根拠条項が変更されたことに伴う「江津市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部改正」、社会教育法の改正により、公民館運営審議会の委嘱の基準について条例での規定の必要が生じたことに伴う「江津市公民館設置管理条例の一部改正」、図書館法の改正により、図書館協議会の委員の任命の基準について条例での規定の必要が生じたことに伴

江津市営住宅管理条例等の一部を改正する条例制定について

「内容」

地域主権改革第2次一括法の施行に伴い、所要の改正をするもので、内容は、公営住宅法の改正により、入居者資格のうち「同居親族要件」の規定が廃止されたことに伴う「江津市営住宅管理条例の一部改正」、土地改良法の改正により、引用

している根拠条項が変更されたことに伴う「江津市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部改正」、社会教育法の改正により、公民館運営審議会の委嘱の基準について条例での規定の必要が生じたことに伴う「江津市公民館設置管理条例の一部改正」、図書館法の改正により、図書館協議会の委員の任命の基準について条例での規定の必要が生じたことに伴



原水使用料補助金を活用して、企業の立地が期待される江津工業団地



建物の1階を図書館として利用

う「江津市図書館設置及び管理に関する条例の一部改正」。

【委員質問】

問 図書館協議会委員の選考について、3つの項目から任命することになれば委員の選考の門が狭くなるのでは。

答 図書館の利用者、特に学校教育、家庭教育また、図書館の業務に精通している学識経験者等のみなさんから幅広い意見をいただく

くという意味で1、2、3号を規定した。江津市営住宅等駐車場の条例の一部を改正する条例制定について

「内容」

東高浜団地の新設に伴い駐車場を6区画追加するもの。建設工事委託に係る協定の変更協定の締結について

「内容」 江津西処理場の増設工事に係る機械・電気設備工事を委託してい

る日本下水道事業団と締結するもので、現協定額6億7200万円を3500万円減額し、6億3700万円とするもの。

減額の主なものは、工事請負契約の入札による減額。

市道の路線の廃止について

市道の路線の認定について

「内容」

市道の路線の廃止については、認定替えに伴い終点変更となる「嘉久志公園団地線」を廃止するもの。

市道の路線の認定については、江津中央公園改築整備工事に伴う道路新設により、その区間を含め終点変更となるため新たに市道認定する「嘉久志公園団地線」、県道改良工事により旧道路区間を認定する「市山長谷線」の2路線を認定するもの。

## 議案等の議決結果

議案番号	件名	議決結果		多田 伸治	横田 省吾	藤間 義明	山根 兼三郎	森脇 悦朗	島田 修二	茅島 昇	石橋 孝義	益子 原民生	河野 正行	藤田 厚	田中 直文	山本 誉	永岡 静馬	福原 昭平	土井 正人	
		議決日	結果																	
同意第1号	功労者の選定について	3月1日	同意																	
議案第1号	工事請負契約の変更契約の締結について	"	可決																	
議案第2号	江津市暴力団排除条例の制定について	3月19日	"																	
議案第3号	江津市スポーツ推進審議会条例の制定について	"	"																	
議案第4号	江津市防災行政用無線戸別受信機分担金徴収条例の一部を改正する条例制定について	"	"																	
議案第5号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部を改正する条例制定について	"	"																	
議案第6号	江津市議会議員の議員報酬等に関する条例及び江津市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例制定について	"	"																	
議案第7号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	"	"																	
議案第8号	江津市税条例の一部を改正する条例制定について	"	"																	議
議案第9号	江津工業団地企業立地促進条例の一部を改正する条例制定について	"	"																	
議案第10号	江津市営住宅等駐車場条例の一部を改正する条例制定について	"	"																	
議案第11号	公有地の拡大の推進に関する法律施行令第3条第3項ただし書の規定による規模を定める条例の制定について	"	"																	
議案第12号	江津市水道事業における水道施設の管理に関する技術上の業務を行う水道技術管理者の設置等に関する条例の制定について	"	"																	
議案第13号	江津市が管理を行う水道施設の管理に関する技術上の業務を行う水道技術管理者の設置等に関する条例の制定について	"	"																	
議案第14号	江津市水道事業における水道布設工事の施行に関する技術上の監督業務を行う布設工事監督員の設置等に関する条例の制定について	"	"																	長
議案第15号	江津市水道布設工事の施行に関する技術上の監督業務を行う布設工事監督員の設置等に関する条例の制定について	"	"																	
議案第16号	江津市営住宅管理条例等の一部を改正する条例制定について	"	"																	
議案第17号	第5次江津市総合振興計画後期基本計画を定めることについて	"	"																	
議案第18号	江津市過疎地域自立促進計画を変更することについて	"	"																	
議案第19号	公の施設に係る指定管理者の指定について	"	"																	
議案第20号	建設工事委託に係る協定の変更協定の締結について	"	"																	
議案第21号	市道の路線の廃止について	"	"																	
議案第22号	市道の路線の認定について	"	"																	

賛成

反対

欠席

斥除斥



## 議案等の議決結果

議案番号	件名	議決結果		多田 伸治	横田 省吾	藤間 義明	山根 兼三郎	森脇 悦朗	島田 修二	茅島 昇	石橋 孝義	盆子 原民生	河野 正行	藤田 厚	田中 直文	山本 誉	永岡 静馬	福原 昭平	土井 正人	
		議決日	議決																	
議案第23号	平成24年度島根県江津市一般会計予算を定めることについて	3月19日	可決																	
議案第24号	平成24年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計予算を定めることについて	"	"																	
議案第25号	平成24年度島根県江津市国民健康保険診療所事業特別会計予算を定めることについて	"	"																	
議案第26号	平成24年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計予算を定めることについて	"	"																	
議案第27号	平成24年度島根県江津市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算を定めることについて	"	"																	
議案第28号	平成24年度島根県江津市公共下水道事業特別会計予算を定めることについて	"	"																	
議案第29号	平成24年度島根県江津市簡易水道事業特別会計予算を定めることについて	"	"																	
議案第30号	平成24年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計予算を定めることについて	"	"																	
議案第31号	平成24年度島根県江津市水道事業会計予算を定めることについて	"	"																	
議案第32号	平成 23 年度島根県江津市一般会計補正予算（第 8 号）を定めることについて	"	"																	
議案第33号	平成 23 年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）を定めることについて	"	"																	
議案第34号	平成 23 年度島根県江津市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第 3 号）を定めることについて	"	"																	
議案第35号	平成 23 年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 2 号）を定めることについて	"	"																	
議案第36号	平成 23 年度島根県江津市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第 1 号）を定めることについて	"	"																	
議案第37号	平成 23 年度島根県江津市公共下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）を定めることについて	"	"																	
議案第38号	平成23年度島根県江津市簡易水道事業特別会計補正予算（第 3 号）を定めることについて	"	"																	
議案第39号	平成23年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 3 号）を定めることについて	"	"																	
議案第40号	平成23年度島根県江津市水道事業会計補正予算（第 3 号）を定めることについて	"	"																	
同意第 2 号	公平委員会委員の選任について	"	同意																	
意見第 1 号	「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を求める意見書の提出について	"	可決																	
陳情第 7 号	消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める意見書の提出について	"	不採択																	
陳情第 8 号	年金受給資格期間の10年への短縮を求める意見書の提出について	"	不採択																	
陳情第 9 号	無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分 3.3 万円の支給を求める意見書の提出について	"	不採択																	
陳情第10号	国民への負担増をあらたに強いる「社会保障と税一体改革成案」に反対し、社会保障の充実・改善を求める意見書の提出について	"	不採択																	
陳情第11号	0.4%の年金引き下げをもとに戻すとともに、物価指数による年金引き下げを行わないことを求める意見書の提出について	"	不採択																	

議

長

賛成

反対

欠席

斥

除斥

# 市民の声を行政に問う

原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

## 中長期行財政運営は

市長 / 経費見直しの徹底

### 行財政運営



森脇悦朗

問 人と施設の高齢化問題は、今後の市政運営に大きく影響すると思う。諸課題解決に向けた、中長期の行財政運営への見解は。

高齢化の食い止めは難しいが、定住施策により影響を極力抑えたい。施設の維持経費削減のため、一層の行財政のスリム化を急ぐ必要がある。山積した課題解決のためには、徹底した経費見直しと公・民連携した手法を用い、根幹的な行政の在り方を含め議論したい。

事業の推進と財政の健全化との二律背反の状況下で、市民にとってやるべきかやらないべきか、市民の感覚で査定した。定住促進の7つの主要テーマに17億8千万円、一般会計に占める割合で12・4%計上できたことにより、一歩一歩進めていけると思う。



架け替え予定の西ヶ原橋（和木町）

## 教育環境

### 幼保・小中

### 連携教育を

教育長 / 可能と考える



藤田 厚

送迎はしないが、延長保育を実施し、一時・休日保育はニーズを見ながら検討し、地域交流活動の充実を図る。子ども園は、子育て

て新システムの導入による幼児教育と保育を提供すると考える。  
問 桜江小・中学校に隣接して、保育所が統合されるのであれば、幼・保と小・中との連携教育の推進を。  
答 保育所と小・中学校との情報の一元化により、連携教育は可能と考える。

問 市山・川戸保育所統合の前倒しと、予定地の決定並びに、公設民営化の理由は。  
答 少子化・施設の老朽化及び安全性の面より統合、移転新築する。災害に強く、利便性と両地区の中間点で小・中学校との連携が図れる点を考慮した。  
民営化により、独自性や創意工夫が発揮され、より細やかな保育サービスの提供ができる。



統合予定の川戸保育所

問 特別保育、保育園児の送迎、触れ合いの場の確保についてと総合こども園への考えは。

問 第5次総合振興計画に取り上げられたスマート・グリッドの考え方と、再生エネルギー開発の取り組みについて補助制度の考え方は。

スマート・グリッドとはICT技術を活用し電力使用量等・電力システム全体を最適に保ちながら省エネルギーを計るもの。国の動向を注視して進めたい。再生エネルギーは、県が実施する太陽光発電等導入支援制度と足並みを揃えた制度を検討する。



盆子原 民生

エネルギー

補助制度の考えは

市長 / 制度を検討

問 武道必修化導入について、各中学校の選択種目と指導者の配置は。安全面についての指導者講習会の実施状況と、年間の履修計画は。

江津中・江東中・青陵中の三校は柔道を選択し、桜江中は剣道を選択。指導者は各学校ともに、外部指導者を含め配置する。指導者講習は年数回実施し、参加者は40数名。履修時間については、柔道を選択した中学校は年間12時間から15時間。桜江中の剣道は年間10時間を計画している。

ICT…情報や通信に関する技術の総称。



中学校

武道必修化

安全面に配慮を

問 交通問題は住民生活の根幹である。交通ネットワークの充実に向けて、地域の実態に合った交通政策が求められる。見解は。

公共交通サービスの地域間格差、過疎・高齢化に伴う交通手段の確保のため、公共交通総合連携計画を策定し取り組んでいる。今後は利便性と効率性の両面から検証しつつ、必要な支援策や改善策を講じて、総合的な交通ネットワークの維持と充実を図る。

問 交通不便地区の解消に向け、地域住民の



山本 誉

交通政策

住民の求める運行を

市長 / 地域の意見を踏まえ

求める運行体制をめざし、地元や事業者との協議を。また、庁内に交通政策の専門部署を。後期基本計画では

交通不便地区の解消を大きなテーマとしている。地域の実情を聞きながら取り組んでいく。専門部署を設けるのは難しいが、生活バス、スクールバス、福祉バス、観光タクシーなど担当部署が分かれているので、連携し全庁的に取り組み対応する。



交通ネットワークの充実に



問 本市の保有施設数と維持費用の状況は。また、老朽化し改修が急がれる橋梁数と、費用見通しは。

平成22年度で157施設、6億3千万円となっている。全橋梁303橋のうち、老朽により改修を急ぐものは11橋で、改修費用15億円を見込んでいる。



横田 省吾

公共施設

再編統合計画は

市長 / 早急に進めたい



運営の適正化を（水の国）

問 スポーツ施設の利  
用人数は。また、水  
の国利用人数と維持  
費、合併後の維持費の  
合計は。

平成22年度の利用  
最多は中央公園市営  
体育館で2万8000  
人。最小は市山多目的  
研修施設で146人。  
水の国の利用者数と  
維持費は、平成17年度  
が4040人、193  
8万円だったが、平成  
22年度は2423人、

1382万円となつて  
いる、合併後6年間の  
維持費合計は9620  
万円。

問 今後の再編統合計  
画は。

健全な財政運営の  
ため、利用度の低いも  
の、同一地域にある類  
似の施設、老朽化等を  
見て、統合や休止と  
いった結論を視野に、  
見直しを早急に進めな  
ければならない。

問 国と県の調査から  
学校規模が学力に影響  
していると思う。複式  
学級の解消と中部地区  
での小学校再編への取  
り組みを急ぎ、適正規  
模の学校再編を。

学校統合について、  
1学年に複数クラスを  
編成できるような規模  
の学校が適正であると  
説明している。教育委  
員会としてその規模を  
確保するために再編計  
画を立てている。

それに伴う財源が必  
要なので市全体の位置  
づけの中で学校再編を  
進めていかざるをえな  
い。



山根 兼三郎

教育環境

適正規模の学校を

教育長 / 市全体の位置づけで

問 幼児への早くから  
の教育が求められてい  
る。国の総合こども園  
構想を待つのではなく  
積極的な取り組みを。

「江津の教育方針」

では「人間関係力の育  
成」の項目を新たに追  
加した。幼児の教育は  
保護者が行うべきと考  
えるが、家庭でできな  
い集団体験も必要な  
で4・5歳児に幼稚園  
教育を実施している。

3歳児の受け入れは  
国の総合こども園構想  
を見きわめながら検討  
する。

学校規模からみた学力の傾向

児童数 / 学校数	~ 200	200 ~ 300	300 ~ 400	400 ~
学力平均	40.16	40.60	40.07	40.44

(島根県)

教員数 / 学校数	~ 15	15 ~ 18	18 ~ 21	21 ~
学力平均	40.08	40.66	40.33	40.31

(島根県)

複式学級数 / 学級数	8% ~	5 ~ 8	2 ~ 5	~ 2%
学力平均	40.13	40.24	40.48	40.53

(島根県)

「平成22年度全国学力・学習状況調査」及び「小学校の市町村別学  
校数、学級数、児童生徒数及び教職員数（平成21年）」から抜粋

問 学校図書館司書への国の財政措置がなされると聞いているが、従来の施策に上乘せし取り組む考えは。

本市では小学校8校、中学校4校のうち、A司書は8校、B司書は津宮小学校のみ、ボランティアが3校となっています。国の地



永岡 静馬

学校図書館

学校図書館の充実を

教育長 / 充実を図りたい



学校図書館の様子

方交付税措置がなされるが、24年度の県の補助が不透明なため、直ちに待遇改善を図ることはできないと考える。状況を見ながら充実に努める。

問 学校図書館を開放して、授業を行ってはどうか。そして、図書館司書のスキルアップを。

担任の先生の指導のもとで補助をするのが図書館司書の仕事であり、図書館での授業については支障がないと考える。また、スキ



A司書…1日5時間勤務の非常勤。  
B司書…1日6時間勤務の常勤。

ルアップについては、年5回、島根県の県立図書館が主催する研修会に参加してもらう。

スポーツ振興

スポーツで

まちづくりを

教育長 / 人づくりとともに



島田 修二

問 スポーツによる「まちづくり」という大きな観点で、スポーツの振興を図ることが、本市の活性化につながる。基本的な考え

スポーツの振興は、市民の健康増進、人的ネットワークの構築、そして、青少年の健全育成と社会貢献活動に携わる人材の育成を目指すことを基本とし「まちづくり」とともに「人づくり」を推進する。

問 スポーツ振興審議委員会の開催実績と審議内容は。

21年度2回、22・23年度は1回の開催で、議題は社会体育事業の状況や総合型地域スポーツクラブの現状等。

問 総合型地域スポーツクラブの現状と今後の展開は。

子供から高齢者まで、「いつでもどこでも・だれでも・いつまでも」気軽にスポーツや文化活動ができる場として、江津いきいきスポーツクラブを2月26日に設立した。将来は種目を増やし、会員を増やして自主運営をめざしたい。

2012年度 江津いきいき 総合型地域スポーツクラブ 会員募集のご案内 G\*

だれでも参加OK!

- 1 多目的: 自分のやりたい種目を好きなだけ選んで楽しめる
- 2 多志向: 体力・技術に合わせたプログラムで、いつまでもスポーツが楽しめる
- 3 一貫指導: ジュニアからシニアまで一貫した指導を受けられる
- 4 多世代: 年齢(性別)に関わらず誰もが気軽にいつまでも楽しめる
- 5 地域コミュニティ: 地域の盛り上がりや、交流の場になる
- 6 拠点施設: 気候に合った距離にある施設を有効に活用できる

会員(地域住民) 子どもから高齢者までたれでも参加できる

総合型地域スポーツクラブとは、地域に住んでいる団体が主体となって運営するスポーツクラブのことです。種別の種目が用意されていて、子どもから高齢者まで、初心者から上級レベルの競技者まで、それぞれの年齢・興味・関心・技術レベルに応じてできるクラブのことです。

4月から開催されたスポーツクラブ



問 ふれあいサロンの拡充と、一人暮らし高齢者への支援を。  
 世代間交流、地域での助け合いなどを目標に各方面へ幅広くよびかける。また、幅広い年齢層のサロンを検討する。高齢者には、毎月の訪問活動、緊急通報装置の貸与を行う



藤間 義明

保健福祉

高齢者への充実を

市長 / 充実に取り組む



ふれあいサロンのひとこま

ている。また、自治会やボランティア、民生児童委員と協力し、行政としても十分な支援が出来るよう努める。  
 問 がん検診受診率向上を。  
 子宮頸がん・乳がん検診は、土日・夕方など検査を受けやすい日時を設定した。胃がん検診は午後検診を実施。大腸がん検診は、便の郵送による検査方法を導入した。また、新年度導入予定の健康

管理システムにより、未受診者対策が計られる。  
 問 高齢者介護職員の不足についての考えは。  
 浜田地区広域行政組合と連携を図りながら、人材確保に努める。また、平成24年度から浜田地区広域行政組合の取り組みとして、現に介護サービス事業所で働いている人のスキルアップや、資格取得に要する費用の一部を補助する。

地域医療

再建への働きかけは

市長 / 機能再編への支援



多田 伸治

問 移転新築後6年で経営難の済生会江津総合病院に税金を使うなら、資金以外の再建への働きかけも必要では。  
 昨年の融資と、機能再編への4億3400万円の支援、現状の医師数の確保で経営改善は可能。閉鎖中の5・6階が再開すれば改善されると考える。

問 島大学長が「2〜3年後に島大から医師が出てくる」と言っている。済生会への派遣に確約を取り付けるべきでは。  
 医学部の地域枠と

県が図る県内医療機関への定着を受けた発言と思われる。医師配置の実現のため、あらゆる機会を通じ働きかけていく。  
 問 看護師の労働環境改善なしに医療体制の確保は望めない。済生



再建が望まれる済生会江津総合病院

会での労働実態の把握は。  
 病院が取り組む課題で、情報は入っていない。  
 問 市長や健康福祉部長らが済生会役員に入っている。実態を調べるべきでは。  
 労働環境改善が行われ、院内での研修などに時間外手当がついている。大きな問題については報告を受けている。



## 関係機関へ意見書を提出

「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を求める意見書

### 【要約】

平成 23 年 7 月 6 日に厚生労働省が、4 大疾病（がん、脳卒中、心臓病、糖尿病）に新たに精神疾患を加えて 5 大疾病とする方針を決めた。この背景には、平成 20 年の患者調査で、糖尿病患者数 237 万人、がん患者数 152 万人などに対し、精神疾患患者の患者数は 323 万人と最も多く、国民に広く係る疾患となっていること。また、毎年 3 万人以上の方がみずから命を絶ち、その約 9 割には何らかの精神疾患にかかっていた可能性があるとされているためである。

平成 22 年 4 月に当該者・家族、医療福祉の専門家及び学識経験者による「こころの健康政策構想会議」が設立され、現在の危機を早く根本的に改革する提言をまとめ、「こころの健康政策についての提言書」を厚生労働大臣に提出した。

この中では、精神医療改革、精神保健改革、家族支援を軸として、こころの健康についての政策を保障する「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を強く求めている。

よって、国におかれては、このような深刻な状況を十分に踏まえ、次の事項を実現されるよう要望する。

### 記

- 1 国民すべてを対象とし、こころの健康増進を図るため「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」を早急に制定すること。
- 2 こころの健康を国の重要施策と位置づけ、総合的で長期的な政策を実行すること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 24 年 3 月 19 日 江津市議会

### 個人研修報告

#### 自治体財政研究会 in 丸の内

期 日 平成 24 年 1 月 22 日（日）・23 日（月）  
開催場所 東京都千代田区 国際ビル 1 階

将来世代に負担を残さないための公会計を中心に講義がありました。財政再建に真剣に取り組もうとしている首長、市議会議員、自治体職員など約 50 名が集まり開催されました。



#### 参加議員の感想（報告書から抜粋）

山根 兼三郎

これまでのバランスシートを改善するには、地方の官と政は変わらざるを得ない。交付金や過疎債、特例債があるから運営できるのであって、元々国債から予算が成り立っており、残高が増えるのは当然。

森脇 悦朗

財政再建と言っても色々な手法がある。まず中身の分析が必要であり、将来世代にツケをまわさないためにどうすればよいか真剣に検討することが重要。

永岡 静馬

「子どもにツケをまわさない」の理念は共感できる。財務諸表を読み取る力をつけるとともに、多くの市民・議員が理念を共有しなければならない。

福原 昭平

講義の中で特に、官だけでなく市民・NPO・企業などが、積極的に公共的な財・サービスの提供主体となり共助の精神で行う活動の紹介は参考となった。

各議員の個人研修報告は、江津市ホームページにて閲覧することができます。

<http://www.city.gotsu.lg.jp>

・市の紹介〔一覧〕市議会 議員個人研修報告  
自治体財政研究会 in 丸の内研修報告

## 議会豆知識

### 【請願】

請願は、国民に認められた憲法上の権利の一つです。

請願とは、国民が国または地方公共団体の機関に対して希望を述べることを言い、「地区に公民館を建設してほしい。」などというのがその例です。

請願することができる者は、住民だけでなく、旅行者や滞在者、外国人でもできます。請願をしようとする人は、議員の紹介により請願書を提出しなければなりません。議会は、受理した請願を担当の常任委員会で審査してから、本会議で採択か不採択か継続審査かを決定します。

議会で採択された請願について、執行機関はその内容について、予算・人員などの諸条件を勘案し、実施するか否かの判断をしますが、可能な限り尊重趣旨に沿うことが求められます。



# ～ 議会報告会 ～

江津市議会は、「市民に開かれた議会」をめざして改革に取り組んでいます。その一環として江津市議会として初の報告会を開催することといたしました。議員が市内4地区（中学校区）に分かれて、3月定例会の内容をお伝えいたします。

会場	東部会場	西部会場	中部会場	南部会場
	都治公民館 (都治町)	二宮交流館 (二宮町)	嘉久志公民館 (嘉久志町)	江津市 コミュニティセンター (桜江町川戸)
開催日	5月16日(水)	5月18日(金)	5月22日(火)	5月24日(木)
時間	午後7時～午後9時			

どの会場へお越しいただいてもかまいません。お気軽にご参加ください。  
5月1日発行の市議会だより 110(本冊子)をご持参ください。

## お知らせ

次回定例会日程

6月8日(金)から

6月22日(金)までの

予定です。

請願・陳情の

受付について

請願書及び陳情書の

受付は、本会議初日の

8日前の午前中まで

です。

(例)

6月定例会で、本会

議初日が6月8日の場

合、5月31日の午前中

まで」となります。

それを過ぎると、次

定例会(9月定例会)

に付託・審議されるこ

とになります。

## 編集後記

最近あまり良い話題がない中、石見智翠館高校ラグビー部が4月に埼玉県で行われた選抜大会において、見事準優勝の栄冠を勝ち取り、私たち江津市民に「元気・勇気・感動」を与えてくれました。

この大会は、高校野

球で例えると、春の選抜で準優勝したのと同様であり、今後は国体そして冬の花園で行われる全国大会での活躍が期待されます。

市内の子ども達がスポーツのステージにおいて頑張っています。私たち大人も負けずに、そして子ども達に希望の持てる未来を残すため、頑張りたいたいものです。(島田修二)



## 編集・発行責任者

議長 土井 正人

## 議会広報・情報公開 対策特別委員会

委員長 森脇 悦朗

副委員長 島田 修二

委員 多田 伸治

委員 横田 省吾

委員 藤田 厚

委員 河野 正行